



[ I ]

$a, b, c$  はいずれも 1 以上 9 以下の自然数とする. 自然数  $N$  を 11 進法で表すと 3 桁の数  $abc_{(11)}$  となり, 13 進法で表すと 3 桁の数  $cab_{(13)}$  となるという.  $a, b, c$  の値を求めよ. また  $N$  を 10 進法で表せ. 解答欄には答えのみを記入せよ.

$$N = abc_{(11)} = a \cdot 11^2 + b \cdot 11 + c$$

$$N = cab_{(13)} = c \cdot 13^2 + a \cdot 13 + b$$

したがって,

$$121a + 11b + c = 169c + 13a + b$$

$$108a + 10b - 168c = 0$$

$$54a + 5b - 84c = 0$$

$$5b = 84c - 54a = 6(14c - 9a)$$

5 と 6 は互いに素であるから  $b$  は 6 の倍数である. 条件より,  $b$  は 1 以上 9 以下の自然数であるから

$$b = 6 \quad \dots \text{㊦}$$

このとき,

$$14c - 9a = 5 \quad \dots \text{①}$$

ここで,  $(a, c) = (1, 1)$  はこの方程式を満たすので,

$$14 \cdot 1 - 9 \cdot 1 = 5 \quad \dots \text{②}$$

①-② より

$$14(c-1) - 9(a-1) = 0$$

9 と 14 は互いに素であるから, この方程式を変形して, 整数  $k$  を用いると

$$\frac{c-1}{9} = \frac{a-1}{14} = k$$

$$(a, c) = (14k+1, 9k+1)$$

$a, c$  はともに 1 以上 9 以下の自然数であるから,  $k=0$  のとき  $(a, c) = (1, 1)$  となる.

$$(a, b, c, N) = (1, 6, 1, 188) \quad \dots \text{㊦}$$

[ II ]

O を原点とする座標空間において 2 点  $A(3\sqrt{3}-3, 3\sqrt{3}+2, 0)$ ,  $B(6, -6\sqrt{3}-1, 6\sqrt{2})$  と平面  $\alpha: \sqrt{3}x - y - \sqrt{2}z = 1$  がある. また直線 AB と  $\alpha$  との交点を P,  $\alpha$  に関して B と対称な点を Q とするとき, 以下の各問の答えのみを解答用紙に記入せよ.

問 1 P の座標を求めよ.

問 2 B から平面  $\alpha$  に垂線 BH を下すとき,  $\overline{BH}$  を求めよ.

問 3  $\overline{PQ}$  を求めよ.

問 4  $\cos \angle BPQ$  の値を求めよ.

問 1 直線 AB 上の点 P を実数  $t$  を用いて  $\overrightarrow{OP} = (1-t)\overrightarrow{OA} + t\overrightarrow{OB}$  と表すことができるので,

$$\begin{aligned} \overrightarrow{OP} &= (1-t) \begin{pmatrix} 3\sqrt{3}-3 \\ 3\sqrt{3}+2 \\ 0 \end{pmatrix} + t \begin{pmatrix} 6 \\ -6\sqrt{3}-1 \\ 6\sqrt{2} \end{pmatrix} \\ &= \begin{pmatrix} (3\sqrt{3}-3) + (9-3\sqrt{3})t \\ (3\sqrt{3}+2) - (9\sqrt{3}+3)t \\ 6\sqrt{2}t \end{pmatrix} \end{aligned}$$

また, 平面  $\alpha$  上にある点  $(0, -1, 0)$  を C とおく. 平面  $\alpha$  に垂直なベクトルの一つを  $\vec{n}$  とするとき,  $\alpha$  の方程式から

$$\vec{n} = \begin{pmatrix} \sqrt{3} \\ -1 \\ -\sqrt{2} \end{pmatrix}$$

と置けばよい. ここで, 点 P は平面  $\alpha$  上の点であるから,  $\overrightarrow{CP} \perp \vec{n}$  であり,

$$\overrightarrow{CP} \cdot \vec{n} = 18(\sqrt{3}-1)t - 6(\sqrt{3}-1) = 0$$

よって,  $t = \frac{1}{3}$  であり, 点 P の座標は  $(2\sqrt{3}, 1, 2\sqrt{2})$  ...㊦

問 2 点 H は平面  $\alpha$  上にあることから,

$$\overrightarrow{CH} \perp \vec{n}$$

である.  $\overline{BH} = k\vec{n}$  とおけば,

$$\overrightarrow{CH} \cdot \vec{n} = (\overrightarrow{BH} - \overrightarrow{BC}) \cdot \vec{n} = 0$$

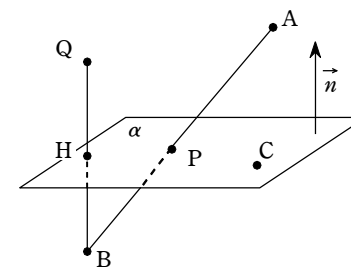
$$(k\vec{n} - \overrightarrow{BC}) \cdot \vec{n} = 0$$

$$k|\vec{n}|^2 - \overrightarrow{BC} \cdot \vec{n} = 0$$

$$k = \frac{\overrightarrow{BC} \cdot \vec{n}}{|\vec{n}|^2}$$

ここで,  $\overrightarrow{BC} = \begin{pmatrix} -6 \\ 6\sqrt{3} \\ -6\sqrt{2} \end{pmatrix}$  を用いて,  $|\vec{n}|^2 = 6$ ,  $\overrightarrow{BC} \cdot \vec{n} = 12(1-\sqrt{3})$  となるので,

$$\overline{BH} = 2(1-\sqrt{3}) \begin{pmatrix} \sqrt{3} \\ -1 \\ -2 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 2\sqrt{3}-6 \\ -2+2\sqrt{3} \\ -2\sqrt{2}+2\sqrt{6} \end{pmatrix} \quad \dots \text{㊦}$$



問 3  $\overrightarrow{OQ} = \overrightarrow{OB} + 2\overline{BH}$  であるから,

$$\overrightarrow{OQ} = \begin{pmatrix} 4\sqrt{3}-6 \\ -5-2\sqrt{3} \\ 2\sqrt{2}+4\sqrt{6} \end{pmatrix}$$

したがって,

$$\overrightarrow{PQ} = \overrightarrow{OQ} - \overrightarrow{OP} = \begin{pmatrix} 2\sqrt{3} \\ -6-2\sqrt{3} \\ 4\sqrt{6} \end{pmatrix} \quad \dots \text{㊦}$$

問 4  $\vec{n}$  と  $\overrightarrow{PQ}$  のなす角を  $\alpha$  ( $0^\circ \leq \alpha \leq 180^\circ$ ) とおくと,

$$|\vec{n}| = \sqrt{6}, \quad |\overrightarrow{PQ}| = 8\sqrt{3}, \quad \overrightarrow{PQ} \cdot \vec{n} = 12(1-\sqrt{3})$$

であり,

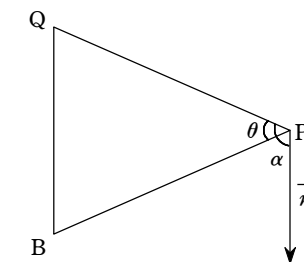
$$\cos \alpha = \frac{12(1-\sqrt{3})}{\sqrt{6} \cdot 8\sqrt{3}} = \frac{\sqrt{2}-\sqrt{6}}{4}$$

となる. このとき,  $\alpha = 105^\circ$  であり,

したがって, 求める  $\theta$  は,

$$\theta = 180^\circ - 75^\circ \times 2 = 30^\circ$$

$$\cos \theta = \frac{\sqrt{3}}{2} \quad \dots \text{㊦}$$



【参考】

$\triangle PBQ$  に注目してもよい.  $PQ = PB = 8\sqrt{3}$ ,  $BQ = 4\sqrt{6}(\sqrt{3}-1)$  となるので, 余弦定理から  $\cos \theta$  が求まる.

【補足】

本問に出てくる値  $[\sqrt{3}-1]$  に注目したい.

$$\sqrt{3}-1 = \frac{\sqrt{6}-\sqrt{2}}{\sqrt{2}} = 2\sqrt{2} \cdot \frac{\sqrt{6}-\sqrt{2}}{4} = 2\sqrt{2} \cos 75^\circ$$

となるので, これらを用いると次のようなことがわかる.

$$\begin{cases} A(3\sqrt{3}-3, 3\sqrt{3}-2, 0) \\ B(6, -6\sqrt{3}-1, 6\sqrt{2}) \\ \alpha: \sqrt{3}x - y - \sqrt{2}z = 1 \end{cases}$$

$$\begin{aligned} (y \text{ 軸方向 } +1 \text{ 平行移動}) &\longrightarrow \begin{cases} A'(3\sqrt{3}-3, 3\sqrt{3}-3, 0) \\ B'(6, -6\sqrt{3}, 6\sqrt{2}) \\ \alpha': \sqrt{3}x - y - \sqrt{2}z = 0 \end{cases} \\ &= \begin{cases} A'(6\sqrt{2} \cos 75^\circ, 6\sqrt{2} \sin 75^\circ, 0) \\ B'(12 \cos(-60^\circ), 12 \sin(-60^\circ), 6\sqrt{2}) \\ \alpha': \sqrt{3}x - y - \sqrt{2}z = 0 \end{cases} \\ (z \text{ 軸を中心に } 15^\circ \text{ 回転}) &\longrightarrow \begin{cases} A''(6\sqrt{2} \cos 90^\circ, 6\sqrt{2} \sin 90^\circ, 0) \\ B''(12 \cos(-45^\circ), 12 \sin(-45^\circ), 6\sqrt{2}) \\ \alpha'': \sqrt{2}x - \sqrt{2}y - \sqrt{2}z = 0 \end{cases} \\ &= \begin{cases} A''(0, 6\sqrt{2}, 0) \\ B''(6\sqrt{2}, -6\sqrt{2}, 6\sqrt{2}) \\ \alpha'': x - y - z = 0 \end{cases} \end{aligned}$$

これらを用いると  $\cos \angle BPQ$  は容易だ.

$\cos 75^\circ$  は IV にも出題されている.



### [III]

複素数  $z$  に対して

$$\frac{(1+i)(z+3i)}{z+4-i}$$

が実数となるとき、 $z$  の動く複素数平面上の図形を図示し、絶対値  $|z|$  の最大値、最小値を求めよ。

$z = x + yi$  ( $x, y$  は実数) とおくと、

$$\begin{aligned} \frac{(1+i)(z+3i)}{z+4-i} &= \frac{(1+i)(x+(y+3)i)}{(x+4)+(y-1)i} \\ &= \frac{(x-y-3)+(x+y+3)i}{(x+4)^2+(y-1)^2} \cdot ((x+4)-(y-1)i) \end{aligned}$$

その虚部のみを取り出すと、

$$\frac{(x+y+3)(x+4)-(x-y-3)(y-1)}{(x+4)^2+(y-1)^2}$$

であり、この値が 0 となればよいから、

$$\begin{cases} (x+y+3)(x+4)-(x-y-3)(y-1)=0 \\ (x, y) \neq (-4, 1) \end{cases} \Leftrightarrow \begin{cases} (x+4)^2+(y+3)^2=16 \\ (x, y) \neq (-4, 1) \end{cases}$$

したがって、 $z$  の動く図形は、中心  $-4-3i$ 、半径 4 の円(ただし、点  $-4+i$  を除く)となり、これを図示すると、右図のようになる。…

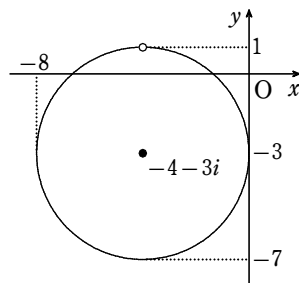
このとき、 $|z|$  が最大、最小となる  $z$  はともに、

$$\arg z = \arg(-4-3i)$$

を満たす。

$|-4-3i|=5$  で、円の半径は 4 であるから、

$|z|$  の最大値は  $5+4=9$ 、最小値は  $5-4=1$  …



### [IV]

O を原点とする  $xy$  平面上において、次の 2 曲線を考える。

$$C_1: \frac{x^2}{4} + \frac{y^2}{3} = 1 \quad (x \geq 0, y \geq 0), \quad C_2: y = -x^3 + \frac{7}{2}x$$

以下の各問いに答えよ。なお答えの数値は有理化すること。

問1  $C_1$  と  $C_2$  の交点の  $x$  座標を全て求めよ。

問2  $C_1$  と  $C_2$  で囲まれる部分の面積を求めよ。

問1  $C_1: 3x^2+(2y)^2=12, C_2: 2y=-2x^3+7x$  から、 $y$  を消去して、

$$\begin{aligned} 3x^2+(-2x^3+7x)^2 &= 12 \\ \Leftrightarrow x^6-7x^4+13x^2-3 &= 0 \\ \Leftrightarrow (x^2-3)(x^4-4x^2+1) &= 0 \\ \Leftrightarrow x^2=3, 2 \pm \sqrt{3} \end{aligned}$$

これらの値について、 $C_2$  の方程式から  $\frac{y}{x} = -x^2 + \frac{7}{2}$  であり、 $C_1$  の条件  $y \geq 0$  から、

$$-x^2 + \frac{7}{2} \geq 0 \Leftrightarrow x^2 \leq \frac{7}{2}$$

したがって、

$$x^2=3, 2-\sqrt{3}$$

さらに  $x \geq 0$  より、

$$x = \sqrt{3}, \sqrt{2-\sqrt{3}}$$

$\sqrt{2-\sqrt{3}}$  の二重根号を外すと、

$$\sqrt{2-\sqrt{3}} = \sqrt{\frac{4-2\sqrt{3}}{2}} = \sqrt{\frac{(\sqrt{3}-1)^2}{2}} = \frac{\sqrt{3}-1}{\sqrt{2}} = \frac{\sqrt{6}-\sqrt{2}}{2}$$

したがって、 $C_1$  と  $C_2$  の交点の  $x$  座標は、

$$x = \sqrt{3}, \frac{\sqrt{6}-\sqrt{2}}{2} \quad \dots \text{$$

問2  $C_1$  と  $C_2$  の交点のうち  $x = \sqrt{3}$  であるものを A、

$x = \frac{\sqrt{6}-\sqrt{2}}{2}$  であるものを B とする。このとき、

$C_1$  と  $C_2$  で囲まれる部分は図 1 の斜線部のようなになる。この面積を  $S$  とする。

これらの曲線を  $x$  軸方向に  $\frac{1}{2}$  倍、 $y$  軸方向に  $\frac{1}{\sqrt{3}}$  倍

縮小し、楕円  $C_1$  が単位円となるようにする。

$C_1, C_2$  の縮小後の曲線を  $C_1', C_2'$  とすると、

$C_2'$  の方程式は、

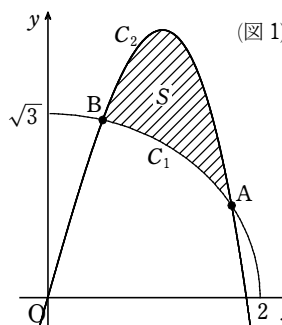
$$\sqrt{3}y = -(2x)^3 + \frac{7}{2} \cdot 2x \Leftrightarrow \sqrt{3}y = -8x^3 + 7x$$

であり、これを極方程式で表すと、

$$\sqrt{3}r \sin \theta = -8r^3 \cos^3 \theta + 7r \cos \theta \quad \dots \text{$$

$C_1'$  と  $C_2'$  で囲まれる部分は第一象限にあるから、 $r \neq 0, \cos \theta \neq 0$  と考えてよく、

$C_2'$  の極方程式 ① は、次のようになる。



$$r^2 = \frac{1}{8} \left( \frac{7}{\cos^2 \theta} - \frac{\sqrt{3} \sin \theta}{\cos^3 \theta} \right)$$

また、 $C_1'$  と  $C_2'$  の交点の  $x$  座標は、問 1 の答えを 2 で割って、

$$x = \frac{\sqrt{3}}{2}, \frac{\sqrt{6}-\sqrt{2}}{4}$$

これらの値は、 $\cos \frac{\pi}{6}, \cos \frac{5\pi}{12}$  の値と一致する。

したがって、半径 1、中心角  $\frac{\pi}{4} (= \frac{5\pi}{12} - \frac{\pi}{6})$  の扇形の面積

$\frac{\pi}{8}$  と  $\frac{S}{2\sqrt{3}}$  の和は、次の定積分  $I$  の値に一致する。

$$\begin{aligned} I &= \frac{1}{2} \int_{\frac{\pi}{6}}^{\frac{5\pi}{12}} r^2 d\theta \\ &= \frac{1}{16} \int_{\frac{\pi}{6}}^{\frac{5\pi}{12}} \left( \frac{7}{\cos^2 \theta} - \frac{\sqrt{3} \sin \theta}{\cos^3 \theta} \right) d\theta \\ &= \frac{1}{16} \int_{\frac{\pi}{6}}^{\frac{5\pi}{12}} (7 - \sqrt{3} \tan \theta)(\tan \theta)' d\theta \end{aligned}$$

$u = \sqrt{3} \tan \theta$  と置換すると、 $\frac{1}{\sqrt{3}} du = (\tan \theta)' d\theta$  であるから、

$$I = \frac{1}{16\sqrt{3}} \int_1^{3+2\sqrt{3}} (7-u) du = \frac{1}{16\sqrt{3}} \left[ 7u - \frac{1}{2}u^2 \right]_1^{3+2\sqrt{3}} = \frac{1+2\sqrt{3}}{4\sqrt{3}}$$

したがって、

$$\frac{\pi}{8} + \frac{S}{2\sqrt{3}} = \frac{1+2\sqrt{3}}{4\sqrt{3}} \Leftrightarrow S = \frac{2+4\sqrt{3}-\sqrt{3}\pi}{4} \quad \dots \text{$$

#### 別解

図 2 において、 $C_1'$  と  $C_2'$  の交点を C、D とし、

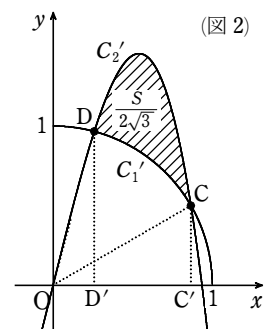
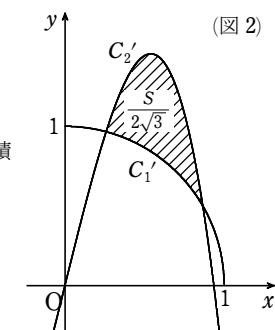
C、D から  $x$  軸に下ろした垂線の足を  $C', D'$  とする。

このとき、

$$\begin{aligned} &\frac{S}{2\sqrt{3}} + (\text{扇形 OCD}) + \triangle OCC' \\ &= \int_{\frac{\sqrt{6}-\sqrt{2}}{4}}^{\frac{\sqrt{3}}{2}} \frac{1}{\sqrt{3}} (-8x^3+7x) dx + \triangle ODD' \end{aligned}$$

したがって、

$$S = \frac{2+4\sqrt{3}-\sqrt{3}\pi}{4} \quad \dots \text{$$





[V]

以下の各問いに答えよ。

問1 次の極限値を求めよ。

$$\lim_{n \rightarrow \infty} \sum_{k=1}^n \frac{k}{\sqrt{n^4 + k^2(n-1)^2}}$$

問2 すべての自然数  $k$  と  $0 \leq x \leq 1$  を満たすすべての実数  $x$  に対して次の不等式が成り立つことを証明せよ。

$$x^k - \frac{k}{6} x^{k+2} \leq \sin^k x \leq x^k$$

ただし  $\sin^k x = (\sin x)^k$  ( $k=1, 2, \dots$ ) とする。

問3 次の極限値を求めよ。

$$\lim_{n \rightarrow +\infty} \prod_{k=1}^n \left\{ \left( 1 + kn^{k-1} \sin^k \left( \frac{1}{n} \right) \right)^{\frac{k}{n^2}} \right\}$$

ただし数列  $a_k$  に対して、

$$\prod_{k=1}^n a_k = a_1 \times a_2 \times \dots \times a_n$$

である。

問1  $S_n = \sum_{k=1}^n \frac{k}{\sqrt{n^4 + k^2(n-1)^2}}$ ,  $T_n = \sum_{k=1}^n \frac{k}{\sqrt{n^4 + k^2 n^2}}$ ,

$U_n = \sum_{k=1}^n \frac{k}{\sqrt{(n-1)^4 + k^2(n-1)^2}}$  とおくと、 $T_n < S_n < U_n$  が成り立つ。

このとき、

$$T_n = \sum_{k=1}^n \frac{k}{n^2 \sqrt{1 + \left(\frac{k}{n}\right)^2}} = \frac{1}{n} \sum_{k=1}^n \frac{\frac{k}{n}}{\sqrt{1 + \left(\frac{k}{n}\right)^2}}$$

であるから、

$$\lim_{n \rightarrow \infty} T_n = \int_0^1 \frac{x}{\sqrt{1+x^2}} dx = \left[ \sqrt{1+x^2} \right]_0^1 = \sqrt{2} - 1$$

また、

$$U_{n+1} = \sum_{k=1}^{n+1} \frac{k}{\sqrt{n^4 + k^2 n^2}} = T_n + \frac{n+1}{\sqrt{n^4 + (n+1)^2 n^2}}$$

$$= T_n + \frac{n+1}{n\sqrt{n^2 + (n+1)^2}} = T_n + \left(1 + \frac{1}{n}\right) \frac{1}{\sqrt{n^2 + (n+1)^2}}$$

であるから、

$$\lim_{n \rightarrow \infty} U_{n+1} = \lim_{n \rightarrow \infty} T_n + 0 = \sqrt{2} - 1$$

したがって、 $\lim_{n \rightarrow \infty} T_n = \lim_{n \rightarrow \infty} U_n = \sqrt{2} - 1$  が成り立ち、はさみうちの原理より、

$$(\text{与式}) = \lim_{n \rightarrow \infty} S_n = \sqrt{2} - 1 \quad \dots \text{㊦}$$

問2  $x=0$  のとき  $\sin x = x=0$

また、一般に  $0 < x < \frac{\pi}{2}$  のとき  $\sin x < x$  が成り立つ。

したがって、 $0 \leq x \leq 1$  のとき  $\sin x \leq x$  が成り立ち、両辺を  $k$  乗することで、

$$\sin^k x \leq x^k \quad \dots \text{①}$$

を得る。次に、

$$x^k - \frac{k}{6} x^{k+2} \leq \sin^k x$$

を示す。まずは、 $0 \leq x \leq 1$  のとき、

$$x - \frac{1}{6} x^3 \leq \sin x$$

が成り立つことを示す。

$$f(x) = \sin x - x + \frac{1}{6} x^3 \quad (0 \leq x \leq 1)$$

とおくと、

$$f'(x) = \cos x - 1 + \frac{1}{2} x^2, \quad f''(x) = -\sin x + x \geq 0$$

$f''(x) \geq 0$  より、 $f'(x)$  は単調増加であるから、

$$f'(x) \geq f'(0) = 0$$

$f'(x) \geq 0$  より、 $f(x)$  も単調増加であるから、

$$f(x) \geq f(0) = 0$$

したがって、 $0 \leq x \leq 1$  のとき  $x - \frac{1}{6} x^3 \leq \sin x$  が成り立ち、両辺を  $k$  乗することで、

$$x^k \left(1 - \frac{1}{6} x^2\right)^k \leq \sin^k x \quad \dots \text{②}$$

を得る。さらに、 $0 \leq x \leq 1$  のとき、

$$1 - \frac{k}{6} x^2 \leq \left(1 - \frac{1}{6} x^2\right)^k \quad \dots \text{③}$$

が成り立つことを示す。 $t = \frac{1}{6} x^2$  とおくと、 $0 \leq x \leq 1$  のとき  $0 \leq t \leq \frac{1}{6}$  であり、③は、

$$1 - kt \leq (1-t)^k$$

となる。そこで、

$$g(t) = (1-t)^k - 1 + kt \quad (0 \leq t \leq \frac{1}{6})$$

とおくと、

$$g'(t) = -k(1-t)^{k-1} + k = k[1 - (1-t)^{k-1}] \geq 0$$

$g'(t) \geq 0$  より、 $g(t)$  は単調増加であるから、

$$g(t) \geq g(0) = 0$$

したがって、 $0 \leq x \leq 1$  のとき ③ が成り立ち、②とあわせることで、

$$x^k \left(1 - \frac{k}{6} x^2\right)^k \leq \sin^k x \iff x^k - \frac{k}{6} x^{k+2} \leq \sin^k x \quad \dots \text{④}$$

を得る。①、④より、題意の不等式が成り立つことが示される。 …㊦

問3  $P_n = \prod_{k=1}^n \left\{ \left( 1 + kn^{k-1} \sin^k \left( \frac{1}{n} \right) \right)^{\frac{k}{n^2}} \right\}$  とおくと、

$$\log P_n = \sum_{k=1}^n \log \left\{ 1 + kn^{k-1} \sin^k \left( \frac{1}{n} \right) \right\}^{\frac{k}{n^2}}$$

$$= \sum_{k=1}^n \frac{k}{n^2} \log \left\{ 1 + kn^{k-1} \sin^k \left( \frac{1}{n} \right) \right\}$$

$n$  は自然数であるから、 $0 \leq \frac{1}{n} \leq 1$  が成り立つ。

そこで、問2において、 $x = \frac{1}{n}$  とおくと、

$$\frac{1}{n^k} - \frac{k}{6n^{k+2}} \leq \sin^k \left( \frac{1}{n} \right) \leq \frac{1}{n^k}$$

したがって、

$$\sum_{k=1}^n \frac{k}{n^2} \log \left\{ 1 + kn^{k-1} \left( \frac{1}{n^k} - \frac{k}{6n^{k+2}} \right) \right\} \leq \log P_n \leq \sum_{k=1}^n \frac{k}{n^2} \log \left( 1 + kn^{k-1} \cdot \frac{1}{n^k} \right)$$

$$\iff \sum_{k=1}^n \frac{k}{n^2} \log \left\{ 1 + \frac{k}{n} \left( 1 - \frac{k}{6n^2} \right) \right\} \leq \log P_n \leq \sum_{k=1}^n \frac{k}{n^2} \log \left( 1 + \frac{k}{n} \right)$$

$\sum_{k=1}^n \frac{k}{n^2} \log \left\{ 1 + \frac{k}{n} \left( 1 - \frac{k}{6n^2} \right) \right\} \leq \log P_n$  の部分について、さらに考えると、

$$\log P_n \geq \sum_{k=1}^n \frac{k}{n^2} \log \left\{ 1 + \frac{k}{n} \left( 1 - \frac{k}{6n^2} \right) \right\}$$

$$\geq \sum_{k=1}^n \frac{k}{n^2} \log \left\{ 1 + \frac{k}{n} \left( 1 - \frac{n}{6n^2} \right) \right\}$$

$$\geq \sum_{k=1}^n \frac{k}{n^2} \log \left\{ 1 - \frac{1}{6n} + \frac{k}{n} \left( 1 - \frac{1}{6n} \right) \right\}$$

$$= \sum_{k=1}^n \frac{k}{n^2} \log \left( 1 + \frac{k}{n} \right) \left( 1 - \frac{1}{6n} \right)$$

$$= \sum_{k=1}^n \frac{k}{n^2} \log \left( 1 + \frac{k}{n} \right) + \sum_{k=1}^n \frac{k}{n^2} \log \left( 1 - \frac{1}{6n} \right)$$

$$= \sum_{k=1}^n \frac{k}{n^2} \log \left( 1 + \frac{k}{n} \right) + \frac{1}{n^2} \cdot \frac{1}{2} n(n+1) \log \left( 1 - \frac{1}{6n} \right)$$

$$= \sum_{k=1}^n \frac{k}{n^2} \log \left( 1 + \frac{k}{n} \right) + \frac{1}{2} \left( 1 + \frac{1}{n} \right) \log \left( 1 - \frac{1}{6n} \right)$$

したがって、

$$\sum_{k=1}^n \frac{k}{n^2} \log \left( 1 + \frac{k}{n} \right) + \frac{1}{2} \left( 1 + \frac{1}{n} \right) \log \left( 1 - \frac{1}{6n} \right) \leq \log P_n \leq \sum_{k=1}^n \frac{k}{n^2} \log \left( 1 + \frac{k}{n} \right)$$

この式において、

$$\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{1}{2} \left( 1 + \frac{1}{n} \right) \log \left( 1 - \frac{1}{6n} \right) = \frac{1}{2} \cdot 1 \cdot \log 1 = 0$$

$$\lim_{n \rightarrow \infty} \sum_{k=1}^n \frac{k}{n^2} \log \left( 1 + \frac{k}{n} \right) = \lim_{n \rightarrow \infty} \frac{1}{n} \sum_{k=1}^n \frac{k}{n} \log \left( 1 + \frac{k}{n} \right) = \int_0^1 x \log(1+x) dx$$

$$= \int_1^2 (u-1) \log u du \quad (u=1+x \text{ と置換})$$

$$= \int_1^2 \left( \frac{u^2}{2} - u \right)' \log u du$$

$$= \left[ \left( \frac{u^2}{2} - u \right) \log u \right]_1^2 - \int_1^2 \left( \frac{u^2}{2} - u \right) \frac{1}{u} du$$

$$= 0 + \int_1^2 \left( 1 - \frac{u}{2} \right) du = \left[ u - \frac{u^2}{4} \right]_1^2 = \frac{1}{4}$$

はさみうちの原理より、 $\lim_{n \rightarrow \infty} \log P_n = \frac{1}{4}$  となるから、

$$(\text{与式}) = \lim_{n \rightarrow \infty} P_n = \lim_{n \rightarrow \infty} e^{\log P_n} = e^{\frac{1}{4}} \quad \dots \text{㊦}$$